

- 1 事業名 平成29年度教育事業  
平成29年「ボランティアコーディネーター研修」
- 2 趣 旨  
各団体・地域で行われているボランティア活動をさらに発展させる。また、各団体が互いに連携を持ち、今後の岩手のボランティア活動のネットワーキングを図る機会とする。
- 3 期 日 平成29年 5月 8日（月）
- 4 参加者 ボランティアコーディネーションに関わっている方  
特に、教育・福祉分野、NPO 団体、または中間支援の組織/団体で活動されている方  
48名
- 5 主 催 特定非営利活動法人 NICE（日本国際ワークキャンプセンター）
- 6 共 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立岩手山青少年交流の家  
特定非営利活動法人いわて連携復興センター
- 7 協 賛 Water Dragon Foundation

8 内 容

(1) 日 程

9:30	受付開始
10:00	<input type="checkbox"/> 開会・オリエンテーション
10:10	<input type="checkbox"/> ボランティアとボランティアコーディネーション概論 ・ボランティアって何？ ・ボランティアコーディネーションの目的と必要性
12:00	昼食
13:00	<input type="checkbox"/> テーマ別ボランティアコーディネーション ・教育施設や福祉施設、NPO 法人におけるコーディネーション ・中間支援組織（ボランティアセンターなど）におけるコーディネーション
15:45	<input type="checkbox"/> まとめ
16:00	<input type="checkbox"/> 閉会

(2) 指導者

講 師

認定 NPO 法人 日本ボランティアコーディネーター協会 事務局長 後藤 麻理子 氏  
コーディネーター  
特定非営利活動法人 NICE（日本国際ワークキャンプセンター）事務局長 上田 英二 氏  
岩手県立大学 社会福祉学部 社会福祉学科 講 師 菅野 道生 氏

### (3) 企画のポイント

昨年度末に行われたキックオフミーティングで、ボランティアコーディネーターを担当している職員は、ボランティアコーディネーションの基本を知らずにやっているという現状であること、また、ボランティアコーディネーションの基本を学びたいというニーズが高いことが明らかになった。そこで、どの分野のボランティアコーディネーターが参加しても、役に立つ「一般的なボランティアコーディネートの基本」を研修の内容とした。一般的なボランティアコーディネートの基本を学んだあとに、テーマ別のグループディスカッションを取り入れた。

### (4) 広報のポイント

国立岩手山青少年交流の家では、平成28年度の東北地区青少年教育施設協議会、また岩手県内青少年集団宿泊教育施設連絡協議会の研修会において、研修会の予定と参加の募集を呼びかけた。さらに、29年度初めには、東北地区社会教育施設の全てに開催要項を送付し、広報を行った。岩手県立大学の菅野道生講師は、社会福祉協議会関係、NPO法人に個人的に声をかけ、たくさんの参加者が集うことになった。

### (5) 運営のポイント

研修会の次第や進行、会計、講師関係等はすべて、主催の特定非営利活動法人NICEが行った。国立岩手山青少年交流の家では、会場準備や運営に関わる準備、講師接待等を行った。

## 9 成果とその普及

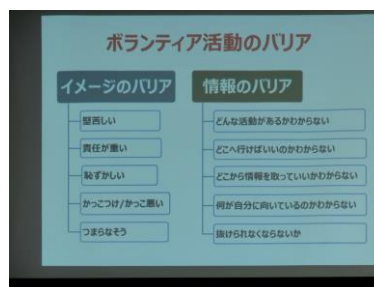
参加者のアンケート結果より、全員が講義の内容をよく理解できていたこと、また、今後役に立つと考えているということが分かった。「今日学んだことを、普段の自分の業務と現状に照らし合わせて整理したい。」「基本的な理論は理解できたので、現場の状況とのギャップや悩みを新たにリスト化していきたい。」など、今後に対する見通しをもつことができるようになった参加者が多かった。さらに、開会行事前や休憩時間、閉会行事後にも、積極的に情報交換をする姿が見られ、県内各地のボランティアコーディネーター同士がネットワーク作りをすることができたのも大きな成果と言える。

## 10 今後の課題

参加者のアンケートの中に、次の研修会の構想が多く記述されていた。実践を交えた研修・基本からのステップアップした内容の講義・学んだことをそれぞれの職場で実践し、その振り返りをするためにまたみんなで集まる・ボランティアコーディネーションの実践についての事例共有・災害向けなど、次回の研修会への期待度は高い。この期待を次回へつなげていく必要がある。



概論の様子



講義の資料より



テーマ別話し合いの様子